

第20回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成20年2月

応募者名:さいたま市建設局土木部道路計画課

事業の名称:さいたま都市計画道路南大通東線整備事業

実施都市名:さいたま市

事業の目的

さいたま都市計画道路南大通東線は、市域の東西交通の骨格を形成する延長約7kmの幹線道路です。

今回開通区間は国道17号から中山道までの270mで、前後区間は4車線供用しているが、当該区間はJRとのアンダー部分が2車線かつ高さ制限があるため、常に渋滞していて早期の整備が望まれていました。

本事業の供用により交通流が増大し、主要渋滞ポイントである上落合、吉敷町の各交差点の渋滞が解消されました。

事業概要

事業名:さいたま都市計画道路 南大通東線整備事業

路線名:南大通東線

事業箇所:さいたま市中央区吉敷町1丁目～
吉敷町2丁目地内

事業延長:270m

幅員:22m(4車線)

総事業費:約119億円

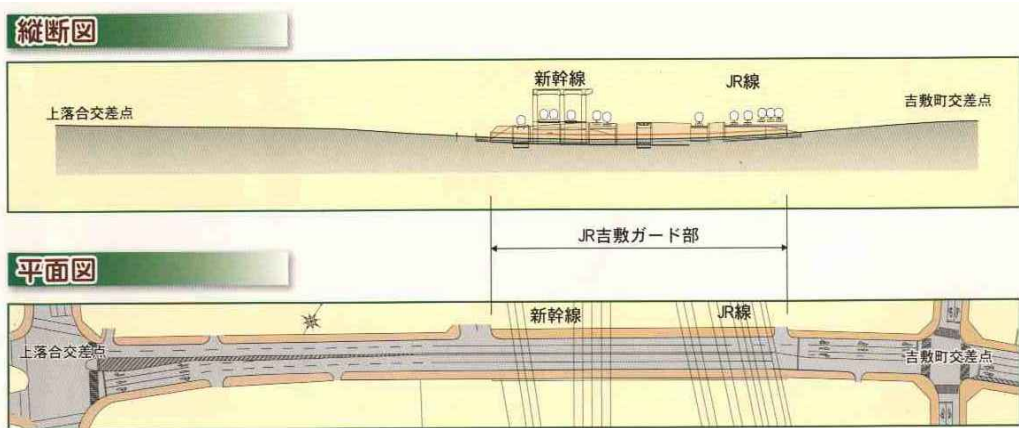
事業期間:平成6年～平成18年

本事業は、国道17号と中山道を結ぶ区間であり、主にJRのアンダー部(吉敷ガード)について、4車線化(片側2車線)を図る道路拡幅事業及び電線共同溝事業を実施したものです。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



整備効果アピール資料



○事業概要

事業名:さいたま都市計画道路
南大通東線整備事業
路線名:南大通東線
事業箇所:さいたま市中央区吉敷町1丁目
～吉敷町2丁目
事業延長:270m
幅員:22m(4車線)
総事業費:約119億円
事業期間:H6～H18年度

○整備前と整備後の交通状況

断面交通量(12時間)	供用前	供用後
吉敷町交差点	14,117台	17,053台
上落合交差点	14,321台	17,186台

交通量約20%増加

最大渋滞長(m)	供用前	供用後
吉敷町交差点	350m	10m
上落合交差点	100m	0m

渋滞はほぼ解消

「整備効果」

- 渋滞の緩和(350m→10m)
- 所要時間の短縮され、交通の安全性が向上
- 環境改善(CO2排出量154t/年削減)



事業前



事業後

事業前写真



事業後写真

